

13 初期仏教入門 —ブツダのさとりとその教え—

【全4回】／開催方法：



わたなべしやうご
渡辺章悟
東洋大学教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：9月2日）

【日程・時間】【全4回】 9月9日(金) 13:30～15:00・15:20～16:50
9月10日(土) 10:30～12:00・13:30～15:00

■受講に必要なもの

【講座の到達目標】

本講座の目的は「仏教とは何か」を考える視座を提供するものです。仏教の本質はブツダ（仏）、教え（法）、教団（僧）という「三宝」があげられます。この三つの要素をインドの社会背景から考察してみます。

【講座の内容】

本講座では上記の「三宝」を順次検討していきます。まず、ゴータマ・ブツダが登場したインドの社会的背景を知ることが、仏教をよりよく理解する上で重要です。その視点のうえで、“歴史上の〈ブツダ〉はいかなる生涯を歩んだのか、ブツダのさとりはどうして達成されたのか”について論じていきます。ついで、ブツダの教えがどのようにまとめられ、体系化されていったのか、つまり〈教えの編纂〉について概説します。そして最後に、教えに従って生きる弟子たちの〈教団〉（僧伽）はどのように形成され、教団分裂はどのようにして起きたのかを分析します。この分裂の原因と結果を知ることが「仏教とは何か」という問いに対する答えの視座を提供することになるでしょう。以上、本講座はインドにおける仏教の成立から大乘仏教成立以前までを扱います。

【参考書】

- ①ブツダを知る事典 著者：菅沼・渡辺共編 出版社：佼成出版社 出版年：2011
- ②『仏教の形成と展開』新アジア仏教史2 著者：奈良康明等編 出版社：佼成出版社 出版年：2010
- ③『ゴータマブツダ I・II』中村元選集11・12 著者：中村元 出版社：春秋社 出版年：1992